

夏のイベント

北陸先端大の畠山さんからご紹介されました、ポリテクセンター関西に勤務しております山口です。久しぶりに畠山さんから連絡があったと思ったら、この原稿の依頼でした。畠山さんとはもう何年も会っていないので、懐かしさのあまり、気安く「はい」と受けたのは良かったのですが、何をテーマに書いたらいいのやら、かなり迷っていましたが、これに決めました。

夏といえばイベント。昔からみんなでわいわい騒ぐのが好きで、いろんなイベントに参加してきました。機構に入って最初の赴任地長崎では、精霊流しに参加していました。長崎での精霊流しは私のイメージしていたものと大きく違い、まさにお祭りといった感じでした。本来、精霊流しは、その年に亡くなった人の霊を船にのせて海に流す行事で、一度も見たことがない人にとっては、あの、さだまさしの歌にあるようにしめやかに行われるものだと感じてしまうかもしれません。しかし、実際は、爆竹や花火の音がものすごく、耳栓なしではいられない状態です。観るよりも参加する方が断然楽しいです。十数年たった今でも、たまに町内会の船に参加させてもらっています。

また、関西に来る前にいた高知では、あの有名なよさこい祭りに参加していました。もともと、よさこい祭りには、戦後の不況を吹き飛ばし、市民の健康と繁栄を祈願し、夏枯れの商店街振興を促すため発足したものだそうです。年々参加する団体は多くなっているようですが、今ではよさこいソーラン祭り（北海道札幌）の方が有名かもしれませんね。毎年夏前になると、あちこちでチームごとの練習が始まり、8月の本番では、昼から夜まで一日中踊りっぱなしでした。市内各所に競演場、演舞場があり、2日間かけて踊るのですが（入賞したチームは3日目もあります）、2日目は筋肉痛でくたくたの状態でした。それでも高知にいる間は毎年楽しみにしていたイベントでした。

そして、今はといえば、夏に限らず、甲子園での野球観戦が楽しみになっています。もともと野球にはあまり

関心がなかったのですが、十年以上前に甲子園に初めて行ったときから、阪神ファン！というよりは、甲子園ファンとなり、今に至るといったところですか。2003年に18年ぶりのリーグ優勝をする前までは、当日券でも余裕で入場できた甲子園でしたが、今となっては、チケットを入手するのも困難な状況です。幸い、よく甲子園と一緒にいくトラキチがチケットを取ってくれるので、自分ではチケットを予約することはないのですが、毎試合満員御礼状態といったところですか。ホントは、数年前までのように、夕涼みしながら、ゆっくりビールを飲みつつ野球も観られたらなあと思ったりしているこの頃です（こんなことを書くと、阪神ファンに怒られそうですが）。さすがに試合に出場することはできませんが（当たり前ですが）、球場全体が一つになって応援するトラキチたちの中で、その雰囲気を楽しんでいます。チームは今低迷している状況ですが、この原稿が載る頃には、クライマックスシリーズに出場し優勝してほしいなあと思っています。



さて、次のリレートークは、福岡の建設業界で働いています金子栄憲さんです。彼は、私が長崎に勤務していたときに実務実習生として来られました。今でも福岡に行ったときには一緒に飲みに行ったりしています。最近2人目のお子さんが生まれて幸せな毎日を過ごしているようです。それでは、よろしくお祈りします。